

☆資源分別回収はこの町のまちづくりの役に立っています。次回分別回収は2月22日(土)午前7時～8時です。出せない人は(※2面下欄外に続く)配布

大洞	4-77
東山	4-50
北山	38-362
コモン北	5-89
桜台	23-334
桜市	40-266
柏台	31-328
柏市	26-194
桐丘	23-197
桐市	6-38
紅葉	21-265
紅市	16-115
桜2P	1-24
計	237/2339

祝 新成人を祝い励ます会

—芥見東自治会連合会理事・今井 均

平成26年1月12日(日)に芥見東・南自治会連合会合同主催による「平成25年度新成人を祝い励ます会」を開催いたしました。本年度の参加者は芥見東(47名)、芥見南(29名)の76名でした。

連合会長挨拶に始まり、市長・来賓・恩師の「お祝いのことば」をいただき、最後に新成人の代表による「誓いのことば」で式典を無事終えることができました。

式典後、記念写真撮影と恩師を囲んでの語る会、友人たちとの再会に笑みがたえないひとときを過ごし、帰路に向かわれました。

昨年度までは「成人の日」に開催していましたが、皆様のご意見を踏まえ、本年度から前日の日曜日の午後開催としました。招待者及び親御さんからは“いいね”の声も頂き、次年度も継続し新たな試みも検討・実施していきたいと考えます。

新成人と
なられました
皆様、本当
におめでとう
ございました。
□■



—藍川東中学校恩師・河田 勤さん

成人式を迎えた皆さん、おめでとうございます。義務教育を終え中学校を卒業して以来、早いもので5年が経ちました。成人式の日壇上から見えた皆さんは、中学生の頃の面影を少し残しつつも、随分と立派な若者に成長していました。その姿に、驚きと共に大変嬉しく誇らしい思いでいっぱいでした。

東日本大震災以来“絆”という言葉をよく耳にします。家族の絆、仲間との絆、地域との絆など、この20年でたくさんの人との絆が生まれたことでしょう。ともすると自分一人の力で生きてきたように思いがちですが、見えないところでたくさんの人達の支えがあったことを忘れて欲しいと思っています。そして、そのことへの感謝の心を持ち続けて下さい。当たり前のことにも感謝の心を持てるようになった時、あなたの見える世界が変わ

ってくるとおもいます。

そして感謝の心に
応えるには、自分の夢
や希望をもって、自分
らしく生き抜くことだ
と思います。君達の前途
に幸多きことを願って
います。 □■

新成人を祝い励ます会を終えて

—北山支部・澤山 晃也さん

何よりも最初に、小・中学校を共に過ごしてきた仲間と成人式を迎えることができたという事実をまず嬉しく思いました。友人たちと久しく語り合うことで自分達自身の成長を感じましたし、逆に自分達がまだまだ大人に慣れていないと感じた部分もありました。

私は4月生まれということもあり、他の人たちよりもいち早く20歳を迎えました。しかし私達新成人の代表として挨拶をしてくれた高間くんの言葉の中にもありました「責任」、これを重く感じたのは20歳になって一年近く経った、今日の成人式でした。

私はまだ学生でこれから社会



に出ていく立場であり、口に出す言葉以上には「責任」という意味を実感できていないかもしれません。この先何度それを実感する場所があるかはまだわかりませんが、自分だけでなく自分以外の人々への「責任」を果せるように、今以上に成長していきたいと思っています。ありがとうございました。 □■



*「こうしては？」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

☆ハンドメイドマーケットを開催します↓日時:2月5日(水)10時~15時 会場:ハロー芥見店セルフレジと赤のれん間の通路

消防団員を募集しています

あなたの想いで守れる街・・・救える命・・・深まる絆・・・がある



認知症になっても安心して暮らせる町を

一岐阜市介護保険課・翠 和世さん
年を重ねると誰も若い頃とは違うと感じる事が増えてきます。もし自分や家族が「認知症かもしれない」と不安になったらまず何をしたらよいか、考えたことがありますか。

現在、全国で認知症の人は460万人いるといわれます。高齢になれば誰もが認知症になる可能性があります。認知症は治療と対応が必要な病気です。自分や身近な人の変化に気づいたら、まずかかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう。早めに治療を開始すること、周囲の人が認知症を理解し対応することで、認知症の進行を防いだり、可能な限り今までどおり自宅で過ごすことができるよう支援することができます。

芥見東地域には「地域包括支援センター東部」、各種団体の他に「見守り愛チーム」もあります。いつまでも安心して暮らせる町を目指して、ともに考え活動していきたいと思います。 □■

災害に備えて 防災用備品の倉庫設置

桜台市営支部自治会長・吉澤 小百合さん
桜台支部と桜台市営支部が共同で使用していた防災倉庫が、市営支部の集会場の敷地内に新たに設置されました。災害時には近くにありとても心強く感じます。ただ、最初ですので備品購入などお金もかかりますが、各自治会の皆さんが安心できる事を考えれば、非常に良い事だと思います。

防災備品については昨年12月までに80%位購入でき、今後の管理方法や備品一覧表も完備され、現在2ヵ月毎に点検しております。26年度からも是非維持して頂ける様お願いしたい気持ちです。

支部の皆様も、防災倉庫の中を見る事が無いと思いますので、写真を掲載いたします。 □■



写真にありませんが現在は発電機/投光器/金テコなども完備しております。

子ども会 役員をして感じた接し方

芥見東子ども会育成者協議会会長・加藤 清美さん
子ども会の育成会長を引き受けて2年が経とうとしています。時にはつらいこともあり、そんな時には公民館で連合会長さんや公民館主事の方に話を聞いてもらいました。「初めからうまくいくわけないよ」と励まし、支えていただいたことにとっても感謝しています。

最近、こんな言葉がインターネットで流行っているようなので紹介します。日本の親は「人に迷惑かけちゃダメですよ」と教えるが、インドでは「お前は人に迷惑かけて生きているのだから人のことも許してあげなさい」と教えるそうです。前者は、息苦しさを、後者には、ホッとさせるものを感じる。迷惑かけずに生きられるわけない。

若輩者の私ですが、後者の姿勢で子どもたちに接していきたいと思っています。 □■



水防団 地元中学校での啓発活動が

芥見水防団分団長・後藤 良三さん
水防団は水防意識を高めるために、それぞれの地域において、啓発活動を行っています。

芥見東地域の防災訓練では、藍川東中の生徒の皆さんに、土のう拵えの実演と工法の指導をやっています。生徒の皆さんは、真剣に取り組んでくれるので、団員の方も力が入ります。



芥見地区では、藍川中学1年生の総合学習の一環として、長良川の堤防において、コンクリート壁開口部板張り工法の実演と、水防倉庫と中の資材の説明など、水防活動の重要性を説いた学習をしています。



平成16年の台風23号により浸水被害を受けた三輪地区では、中学生が水防団から工法などを教授してもらい、数年前から岐阜市水防連合演習大会に参加し「自分たちの地域は自分で守る」という意識を高めています。

地域防災訓練において、多くの人に参加することにより、自然災害などの被害を風化させないよう、啓発活動を展開していく必要があると思います。 □■

☆演歌ショー(ひばり&三郎)を開催します↓日時:2月8日(土)午後1時開場 1時30分開演 会場:凰ふれあいホール(主催:芥見東音楽同好会)